



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしょうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつ にちほつこう
令和4年1月20日発行



がっこうきょういくもくひょう
学校教育目標

こころゆたかにたくましく、ともに学び合う子どもの育成



HENNA♪ NENNA(^^♪



RAINBOW BEAUTIFUL(^^♪



WE ARE THE PEOPLE♪



「Kent-Mori YOKKAICHI レインボープロジェクト」に全校で参加しました。このプロジェクトは、Kentさんの「言葉や肌の色は違っても、ダンスを通じて、一つになれる (DANCE IS ONE)」「ありのままの自分を表現できる楽しさを味わおう」「夢や志をもって、その道を歩んでいこう (歩みを止めないでいこう)」などというメッセージが含まれています。これは人権教育であり、キャリア教育に通じる場所ですね。

今回は、オンラインを通じての実施でしたので、どのような状況になるのかという不安もありましたが、スクリーンから届けられるKentさんのステキなダンスと子どもたちへのメッセージが、すぐに子どもたちの心と体をほぐし、Kentさんのダンスの世界へ夢中になっていきました。

コロナの感染拡大がなければとは思いましたが、子どもたちにとってステキな出会いと記憶に残る出来事になったことでしょう。

本校には、新聞社が2社・テレビ局が2社と教育委員会の方々も来校しました。子どもたちの様子を見て、次のようなステキなお言葉をいただきました。

- ・最初は、Kentさんの映る画面を見ながら、どこかぎこちなく踊っていた子どもたちが、いつの間にか、思いつき心と体を開き、いつの間にか画面から離れ、友だち同士で踊ることを共有し始めている…そのような姿に驚きました。Kentさんの力や影響もあるとは思いますが、三重北小の教育活動の話を伺う中で、やはり子どもたちは「育てたように育つ」「心と体を開くことを経験している子どもたちは、たとえそれがオンラインであろうが踊ることができる」そのような印象を持ちました。
- ・ダンスの途中休憩の10分間で6年生の子ども自身で考えた最後のあいさつを聞いたとき、Kentさんも、そこにいた大人もとても感動しました。ダンスをしている姿とともに、三重北小の子どもたちをステキだなと感じました。涙が出そうになりました。
- ・カメラを通して、子どもたちの踊っている姿を覗いていると、私自身も自然と体が動き出してしまいました。Kentさんのダンスや饒舌な話もありますが、ステキな子どもたちですね。

今後も「本物との出会い」「当事者との出会い」「本質に迫る授業・教育活動」などの取り組みを、保護者・地域・関係機関と連携協働して進めていきますので、ご理解ご協力をお願いします。